

「日本発ものづくり提言プロジェクト」実行委員会 主催

発起人 / 稲荷田征(日本モデリスト協会特任委員) 大沼淳(文化学園理事長) 貝原良治(カイハラ会長・発起人代表) 久米信行(久米繊維工業会長)  
貞末良雄(メーカーズシャツ鎌倉会長) 森奥信孝(岩手モリヤ社長)

第3回 全国アパレルものづくりサミット!

# 世界が求める メード・イン・ジャパンのこれから

挑戦する「日本製」。国内需要と輸出の創造・拡大へ。

12月12日(土) 午後1時~5時

文化学園20階B201ホール

参加費 一般 1,000円 / 学生 500円

※懇親会の参加は別途 2,000円

第一部 基調報告「MADE IN JAPANの再生へ。日本政府の政策と現実、今後の課題」  
経済産業省製造産業局繊維課長 寺村 英信氏

第二部 パネルディスカッション「世界が求めるメード・イン・ジャパンのこれから」

- ・メーカーズシャツ鎌倉株式会社 代表取締役会長 貞末 良雄氏
- ・第一織物株式会社 代表取締役社長 吉岡 隆治氏
- ・松屋銀座本店 シニアバイヤー 宮崎 俊一氏
- ・有限会社ファッションしらいし 代表取締役 白石 正裕氏
- ・司会 久米繊維工業株式会社 取締役会長 久米 信行氏



寺村 英信氏

現場主義で産地やものづくりの現場にも頻りに顔を出す。イタリアなど海外勤務の経験もあり、国際的な見地から日本の繊維・アパレル産業の強みと抱える課題を的確に把握。全国アパレルものづくりサミットで初めて行政の立場で基調報告を行う。



貞末 良雄氏

メード・イン・ジャパンのシャツの出口戦略として、ニューヨークをはじめ世界に店舗を拡大している。「日本発ものづくり提言プロジェクト」実行委員会発起人の一人。



吉岡 隆治氏

日本発の高密度織物の製造販売を手掛け、いち早く世界のマーケットを開拓してきた。「鎌倉シャツ」と連携した商品も販売している。



宮崎 俊一氏

「ものづくりと販売をどちらも行う人間」と自認する。独学でイタリア語を習得して生地の買い付けに向き、国内の仕立て職人とともに作る「丸縫い既製スーツ」が人気を集める。



白石 正裕氏

東京の婦人服工場で、プレタの技術力で定評がある。著名デザイナーのニューヨークコレクションをサポートしながら、同ブランドの商品を日本で手掛けている。



久米 信行氏

1935年創業の国産Tシャツ専門メーカーの久米繊維工業。久米信行氏は「日本発ものづくり提言プロジェクト」実行委員会発起人の一人として、第1回から司会を担当。鮮やかな司会ぶりに定評がある。



**第3回 全国アパレルものづくりサミット！**  
**世界が求めるメイド・イン・ジャパンのこれから**  
**挑戦する「日本製」。国内需要と輸出の創造・拡大へ。**



- ◆「メイド・イン・ジャパン」の現状を直視しよう
- ◆内需と輸出の創造と拡大。成功事例に学ぼう
- ◆「日本発ものづくり」の再生で、アパレル産業の立て直しを
- ◆新しい産業づくりを若い世代と共に

## 企画趣旨

日本を訪れる外国人観光客から人気の高い「メイド・イン・ジャパン」。でも、衣料品分野で日本製はなかなか見つかりません。一方、生産や流通の在り方に強い関心を持つ日本の消費者も「メイド・イン・ジャパン」志向を強めていますが、高感度・高品質を強みとする百貨店やセレクトショップでさえ、日本製の衣料品を見つけることは難しくなっていました。なぜ、このようなことになってしまったのでしょうか。私たちは、日本のアパレル産業の仕組みや考え方に大きな問題を感じます。

しかし、繊維・アパレル産業を広く見渡してみると、国内はもちろん、海外の需要の獲得に成功している事例は存在しています。今、問題なのは、それらが点として輝いているだけで、面としての広がり欠けることです。繊維・テキスタイル段階では輸出の成功事例は一定規模に達していますが、縫製やアパレル製品段階では、高度な感性や技術を放つ存在でも、国内外の需要を十分に獲得するまでに至っておらず、「絶滅危惧種」的状況の深刻さが増えています。

そこで、今回の「第3回 全国アパレルものづくりサミット」では、繊維・テキスタイル、アパレルの先駆的事例に学びつつ、それらの力を生かした垂直統合型の「メイド・イン・ジャパン」製品を、国内需要の創造はもちろん、輸出も視野に、作り出すことはできないだろうか。具体的なビジネス戦略の検討を投げかけることにしました。

この課題、従来の産業の枠組みを超えた新しいアパレル産業づくり。主役は各段階の「日本発ものづくり」の第一線で働いている方々です。その未来を担う若い世代にも積極的に参加してもらい、現状打開と持続可能な「日本発ものづくり」ビジネスの創造に確信が持てるサミットにしたいと思います。

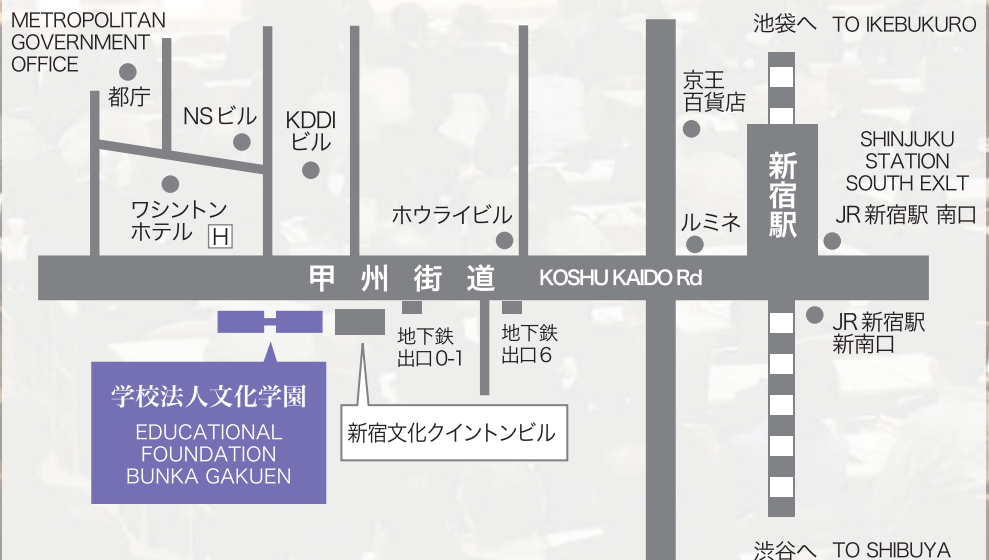
- **参加対象**：縫製技術者、パタンナー、学生、教員、アパレルメーカー経営者、百貨店関係者、アパレル小売業関係者、商社、テキスタイルメーカー、繊維・アパレル行政関係者など
- **問い合わせ先**：「日本発ものづくり提言プロジェクト」実行委員会  
 事務局（アパレル工業新聞社気付）電話 03-3513-7931

### 開催概要

- **日時**：12月12日（土曜日）  
 午後12時30分開場  
 午後1時開会～午後5時  
 閉会 終了後懇親会
- **参加費**：一般1,000円、学生500円
- **懇親会**：参加費2,000円
- ※懇親会の会場は1階、学生食堂です

### 会場地図 学校法人文化学園 20階

B201ホール（B館講堂）  
 東京都渋谷区代々木3-22-1



「日本発ものづくり提言プロジェクト」実行委員会 主催

# 「12・12 第3回全国アパレルものづくりサミット」

受付係行き

ご提出先 F A X : 0 3 - 5 2 6 1 - 7 0 7 5

メールアドレス : info@apako-news.com

## 参加登録票

※会場整理の関係上、事前参加登録制とさせていただきます。

※参加費は当日受付でお支払いください。

※複数参加の場合は、恐れいりますが、コピーを取りお申し込み下さい

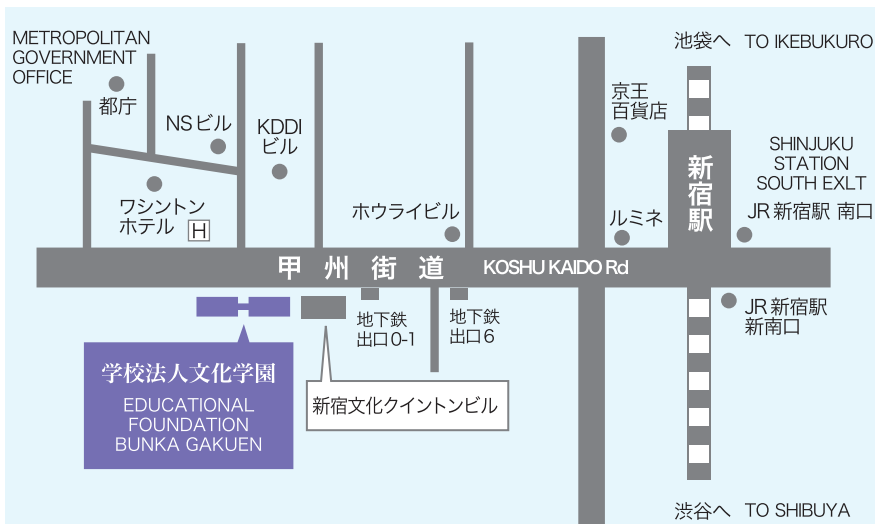
申込み締切日

12月5日(土)

(ふりがな)		所属 (会社・団体・学校)
※お名前		
	〒□□□-□□□□ ご住所 都道府県 市区町村	どちらかに○を付けてください。 ・社会人 (職種 : ) ・学生
ご連絡先	TEL	どちらかに☑を付けてください。 <input type="checkbox"/> サミットのみ参加 <input type="checkbox"/> サミット+懇親会
	E-Mail	

アパレル&ファッション分野の「MADE IN JAPAN」の現状とこれからへのご意見や、アパレル製造業（縫製・ニット）の皆さんへのメッセージをお書きください。

## 会場アクセス



JR (山手線・中央線・総武線・埼京線・湘南新宿ライン)、小田急線、京王線、都営新宿線、都営大江戸線、丸ノ内線、西武新宿線 新宿駅下車 新宿駅から徒歩で約8分

JR 新宿駅南口より、甲州街道に沿って初台方面へ徒歩8分